Pioneer DJ

DJ コントローラー

DDJ-RB

http://pioneerdj.com/support/
http://rekordbox.com/

上記のPioneer DJサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

商品相談・修理受付・付属品購入窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「取扱説明書（クイックスタートガイド）」はどちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  rekordbox の操作説明書の入手方法については、「rekordbox の操作説明書を閲覧する」（p.3）をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[**ファイル**]、[**CUE**] ボタン、[**PHONES**] 出力端子)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しいrekordbox djの操作については、rekordboxの操作説明書をご覧ください。

01 はじめに

本機の特長 3
付属品を確認する 3
マニュアルを閲覧する 3
rekordbox について 3

02 rekordbox をインストールする

rekordbox をインストールする前に 4
rekordbox ソフトウェアを入手する 4
rekordbox ソフトウェアをインストールする 4

03 各部の名称とはたらき

本体天面部 5
本体背面部 8
本体前面部 8

04 接続する

入出力端子に接続する 9
コンピューターと接続する 9

05 操作する (基本編)

rekordbox を起動する 10
rekordbox を準備する 10
楽曲ファイルを [コレクション] に追加する 11
楽曲をデッキにロードする 11
楽曲を再生する 12
rekordbox を終了する 12

06 操作する (応用編)

パフォーマンスパッドを使う 13
スリップを使う 15
フェーダースタート機能を使う 15
楽曲を解析する 16
ビート FX を使う 16
録音機能を使う 16
マイクを使う 16

07 設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する 17
ユーティリティーモード 17
rekordbox 上で設定を変更する 17
ドライバーソフトウェアおよび設定ユーティリティーソフトウェアについて 18

08 その他

故障かな？と思ったら 19
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 21
保証とアフターサービス 22
商標および登録商標について 23
著作権についてのご注意 23

はじめに

本機の特長

本機は当社製 DJ ソフトウェア「rekordbox dj」(無償) の多彩な機能を直感的に操作する為のインターフェイスを装備した専用の DJ コントローラーです。当社プロフェッショナル DJ 機器の設計思想を取り入れた「BIG JOG」、「PERFORMANCE PADS」、「2-CHANNEL MIXER」などの各操作インターフェイスを配置し、かつ「rekordbox dj」との組み合わせにおいて最適に動作するようにチューニングを施すことで高いレスポンス性能を実現しており、思い通りの DJ プレイが可能となります。また、「BEAT FX」や「LOOP」を操作する為の専用操作インターフェースを搭載しており、再生中の楽曲に対してオリジナルのアレンジを加えることができます。さらに、ジョグプレートにアルミ素材を採用するなど高級感のあるデザインに仕上げており、イベントやホームパーティなど、さまざまなシーンに対応しています。

PERFORMANCE PADS

ホットキュー、パッド FX、サンプラー等、rekordbox に搭載されている機能を操作できるラバー製の大型パッド「PERFORMANCE PADS」を各デッキ操作部に 8 つずつ配置しました。たたく・連打するなどのダイナミックなアクションで楽曲にアレンジを加えられます。

BIG JOG

マニュアルでの早送り・早戻し操作やスクラッチ演奏に最適なサイズと操作負荷の「BIG JOG」を搭載しています。rekordbox との通信方式として HID を採用したことで、ジョグの操作情報をより忠実に低遅延でコンピュータに送信できるようになり、更にアナログレコードを操作する感覚でスクラッチ演奏ができるようになりました。

2-CHANNEL MIXER

DJ ミキサーの世界標準であるパイオニア DJM シリーズの操作パネルレイアウトを継承した「2-CHANNEL MIXER」を搭載しています。各チャンネル上に「TRIM」ノブ、ミキサー中央部にチャンネルレベルメーターを搭載しているので、入力音量を素早く把握し最適な音量に調整することが可能です。また、「MANUAL FILTER」の専用ノブを、各チャンネルに独立して搭載しているので、ミックスや楽曲アレンジ時に、ワンアクションで大幅にかつ瞬時に楽曲を変化させることができます。

BEAT FX

再生している楽曲のテンポに連動してエフェクトを加えることができる「ビート FX」の専用操作インターフェイスを搭載しています。楽曲に新たなアクセントを追加したり、ミックス時の効果音として使用したりすることができます。

PROFESSIONAL QUALITY DESIGN

同価格帯モデルの中でも大きな筐体を採用し、ジョグプレートに上位モデルと同様のアルミ材、本体天面にはヘアライン加工を施すなど、存在感のあるデザインに仕上げています。

rekordbox dj

本製品は rekordbox の DJ パフォーマンス機能「rekordbox dj」のライセンスキーを同梱しています。ライセンスキーを用いて「rekordbox dj」をアクティベートすることで、スクラッチやミックスなどの基本機能だけでなく、「HOT CUE」、「SAMPLER」やエフェクトといった「rekordbox dj」の多彩な機能を用いた本格的な DJ プレイを楽しめます。また、本機のすべてのボタンやノブなどは、「rekordbox dj」の各機能と連動するプラグアンドプレイに対応しているので、PC に繋ぐだけですぐに DJ プレイを楽しめます。

付属品を確認する

- USB ケーブル
- 保証書 (一部の地域)[1]
- 取扱説明書 (クイックスタートガイド)
- rekordbox dj ライセンスキーカード

[1] 同梱されている保証書は欧州地域が対象です。
— 北米地域は「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。
— 日本地域は「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の裏表紙に該当内容が記載されています。

ご注意
ライセンスキーの再発行はできませんので、大切に保管してください。

マニュアルを閲覧する

各操作説明書は PDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式 のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

rekordbox の操作説明書を閲覧する

1 コンピューターでウェブブラウザーを起動し、下記の rekordbox 商品サイトにアクセスする
http://rekordbox.com/

2 [Support] をクリックする

3 [マニュアル] をクリックする

4 操作説明書の必要な言語をクリックする
必要に応じてダウンロードしてください。

- rekordbox の各種情報やサービスについては、上記の rekordbox 商品サイトをご覧ください。

rekordbox について

- rekordbox は楽曲管理と DJ パフォーマンスができる複合ソフトウェアです。
- rekordbox の DJ パフォーマンス機能を rekordbox dj と呼びます。製品に同梱の rekordbox dj ライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力することで rekordbox dj を使うことができます。

最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac OS X: 10.11/10.10/10.9 (最新アップデート)	Intel® processor Core™ i3/i5/i7、Intel® processor Core™ 2 Duo
	4 GB 以上の RAM
Windows: Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 (最新サービス パック) 32 ビット版、64 ビット版	Intel® processor Core™ i3/i5/i7、Intel® processor Core™ 2 Duo
	4 GB 以上の RAM

その他	
USB ポート	コンピューターと本機を接続するために USB 2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1280 x 768 以上の解像度
インターネット接続	rekordbox のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- rekordbox の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記の rekordbox 商品サイトの [**動作環境**] を参照してください。
  http://rekordbox.com/
- 記載の動作環境を満たしている、すべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

rekordbox をインストールする

rekordbox をはじめてお使いになるお客様、および rekordbox 3 以前をお使いのお客様は、本手順に従ってインストールを行ってください。
rekordbox 4 を既にインストールされているお客様は、最新バージョンにアップデートしてください。

rekordbox をインストールする前に

rekordbox ソフトウェアは付属されていません。
rekordbox 商品サイトにアクセスして、ソフトウェアをダウンロードしてください。
http://rekordbox.com/

- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
- 既に rekordbox 4 をお使いのお客様は最新版にアップデートすることで、rekordbox dj をご利用いただけます。

rekordbox ソフトウェアを入手する

1 rekordbox 商品サイトにアクセスする

http://rekordbox.com/ja/store/

- ページ内は、予告なく変更される場合があります。

2 スタートガイドを確認し、[Free To Download] をクリックする

3 ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、同意するときは [同意する] にチェックを入れる

チェックを入れると [Download] がクリックできる状態になります。

4 [Download] をクリックする

rekordbox のダウンロードが開始されます。

rekordbox ソフトウェアをインストールする

お客様がお使いになるコンピューターのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

インストール手順（Mac OS X）

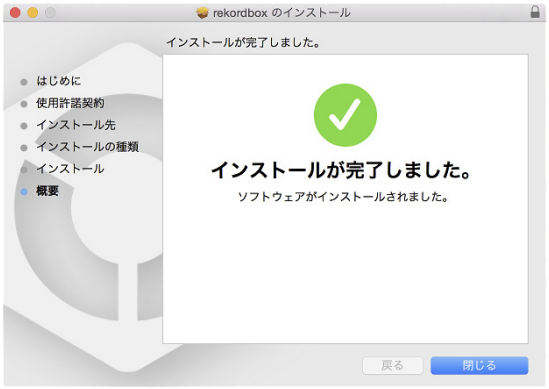
1 ダウンロードした rekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [同意する] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**同意しない**] をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる



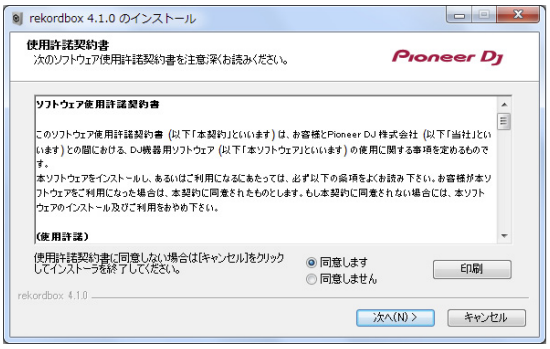
インストール手順（Windows）

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。

1 ダウンロードした rekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックする



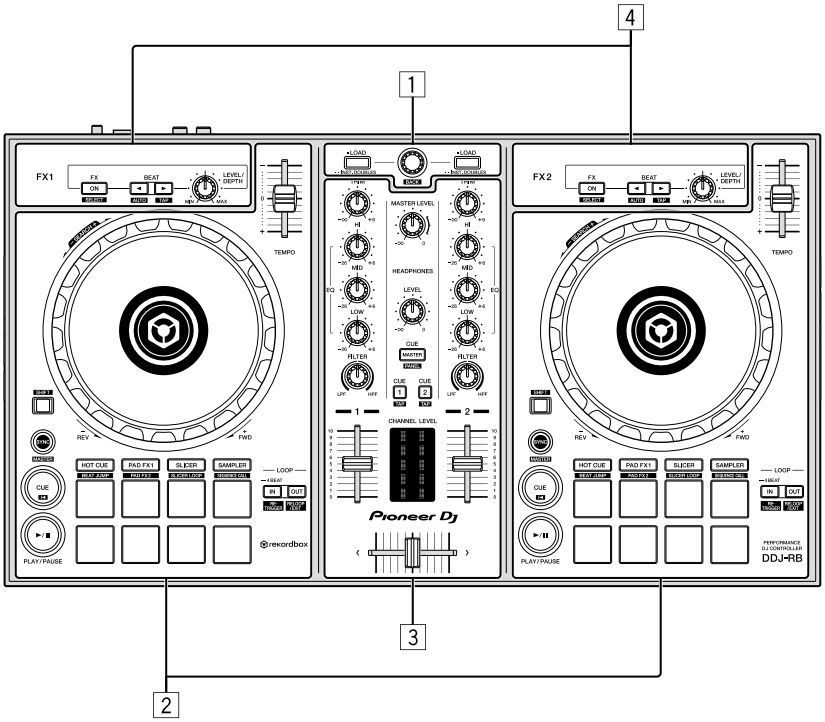
- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[**キャンセル**] をクリックしてインストールを中止してください。

インストール先を指定後、インストールが始まります。
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [完了] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる

各部の名称とはたらき

本体天面部



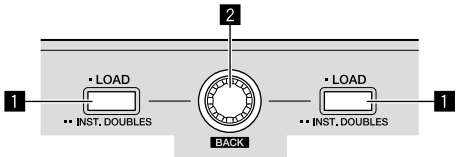
1 **ブラウザー部**
再生する楽曲を選択し、各デッキにロードします。

2 **デッキ部**
2 つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1、コントローラー右側にデッキ 2 を操作するツマミやボタンがあります。

3 **ミキサー部**
各チャンネルのレベル調整や楽曲ミックスなどをコントロールします。

4 **エフェクト部**
2 つのエフェクトユニット（FX1 および FX2）をコントロールします。コントローラー左側に FX1、コントローラー右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。また、rekordbox 上のエフェクトアサインボタンにより、どのチャンネルにエフェクトをかけるか設定することができます。
- 詳細は rekordbox の操作説明書をご覧ください。

ブラウザー部



1 LOAD ボタン
選んでいる楽曲をそれぞれのデッキにロードします。
- [**LOAD**] ボタンを 2 回押すと、反対側の側のデッキにロードされている楽曲を、[**LOAD**] ボタンが押されたデッキにロードします。楽曲が再生中のときは同じ位置から再生されます。（インスタントダブルス）

[**SHIFT**] + 押す：
各 [**LOAD**] ボタンを押すと、楽曲リストをソートします。
- チャンネル 1 側では BPM でソートし、チャンネル 2 側ではアーティストでソートします。

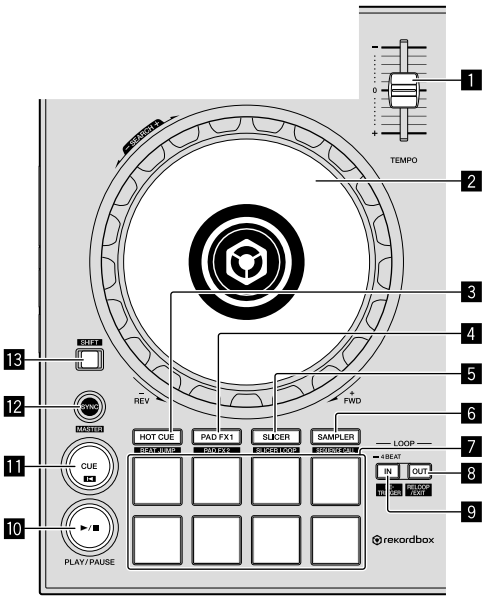
2 ロータリーセレクター
回す：
カーソルが上下に移動します。

[**SHIFT**] ＋回す：
rekordbox dj の拡大波形表示を拡大または縮小します。
右回転で拡大、左回転で縮小します。

押す：
ロータリーセレクターを押すたびにツリービューと楽曲リストの間でカーソルが移動します。
- プレイリストパレットが表示されている場合は、ツリービューと楽曲リストに加えてプレイリスト間もカーソルが移動します。
- ツリービュー、楽曲リスト、プレイリストパレットは rekordbox dj のブラウズセクションにあります。それぞれの役割については rekordbox の操作説明書をご覧ください。

[**SHIFT**] ＋押す：
ツリービュー／楽曲リスト間の移動やフォルダークローズを行います。

デッキ部



1 TEMPO スライダー
楽曲の再生速度を調整します。

2 ジョグダイヤル
天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき､ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

[**SHIFT**] + 天面を回す：
再生位置がスキップします。

3 HOT CUE モードボタン
パッドモードをホットキューモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
パッドモードをビートジャンプモードに設定します。

4 PAD FX 1 モードボタン
パッドモードをパッド FX モード 1 に設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
パッドモードをパッド FX モード 2 に設定します。

5 SLICER モードボタン
パッドモードをスライサーモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
パッドモードをスライサーループモードに設定します。
- スライサーモードおよびスライサーループモードを解除するには、[**PAD FX 1**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン、[**HOT CUE**] モードボタンのいずれかのボタンを押します。

6 SAMPLER モードボタン
パッドモードをサンプラーモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
パッドモードをシーケンスコールモードに設定します。

7 パフォーマンスパッド
「ホットキュー」、「パッド FX」、「スライサー」、「サンプラー」などをコントロールします。
➲ 「パフォーマンスパッドを使う」(p.13)

8 LOOP OUT ボタン
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ループ再生を解除します。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生を解除します。(ループイグジット)
ループ再生を解除したあと、前回設定したループインポイントに戻りループ再生を再開します。(リループ)

9 LOOP IN ボタン
ループインポイントが設定されます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ループ再生を解除します。

[**SHIFT**] + 押す：
設定されているループインポイントに戻り、ループ再生を続けます。

1 秒以上押す：
4 拍のオートビートループをオンします。

10 PLAY/PAUSE ►/II ボタン
楽曲を再生／一時停止します。

11 CUE ボタン
キューポイントを設定、再生、呼び出しします。
- 一時停止中に [**CUE**] ボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中に [**CUE**] ボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとに [**CUE**] ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューサンプラー)
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

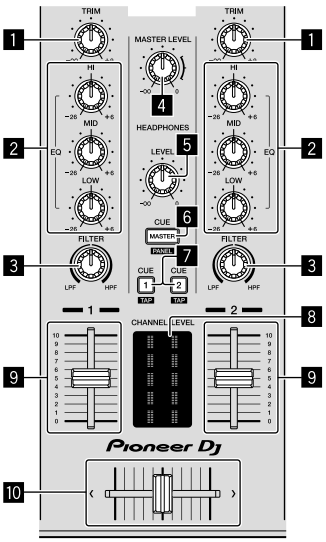
[**SHIFT**] + 押す：
再生位置が楽曲の先頭へ戻ります。

12 SYNC ボタン
同期用マスターに設定されているデッキのテンポ (ピッチ) およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
ボタンを押したデッキを同期用マスターデッキに設定します。

13 SHIFT ボタン
[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能を呼び出せます。

ミキサー部



1 TRIM ツマミ
各チャンネル出力の大きさを調整します。

2 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ
各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

3 FILTER ツマミ
各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。
ツマミがセンター位置のとき原音が出力されます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。
右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

4 MASTER LEVEL ツマミ
マスター出力の音声レベルを調整します。

5 HEADPHONES LEVEL ツマミ
[**PHONES**] 出力端子から出力される音声レベルを調整します。

6 HEADPHONES CUE MASTER セレクトボタン
マスター音声がヘッドホンから出力されます。
- 再度押すと、出力が解除されます。

[**SHIFT**] ＋押す：
rekordbox の各パネルの表示／非表示を切り換えることができます。

7 HEADPHONES CUE 1/2 セレクトボタン
押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- 再度押すと、出力が解除されます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ボタンをたたくことで楽曲のテンポを設定できます。(タップ機能)

8 CHANNEL LEVEL インジケーター
各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

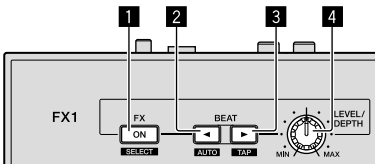
9 チャンネルフェーダー
動かす：
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[**SHIFT**] ＋ 動かす：
チャンネルフェーダースタート機能を使います。
➲ 「チャンネルフェーダースタート機能を使う」(p.15)

10 クロスフェーダー
クロスフェーダーアサインスイッチによって割り当てられた音声を出力します。

[**SHIFT**] ＋ 動かす：
クロスフェーダースタート機能を使います。
➲ 「クロスフェーダースタート機能を使う」(p.15)

エフェクト部



1 FX ON/OFF ボタン
ビート FX のオン／オフを切り換えます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ビート FX の種類を切り換えます。

2 FX BEAT 設定 ◀ ボタン
ボタンを押すたびにビート FX のエフェクト音を同期させる拍の倍率が小さくなります。

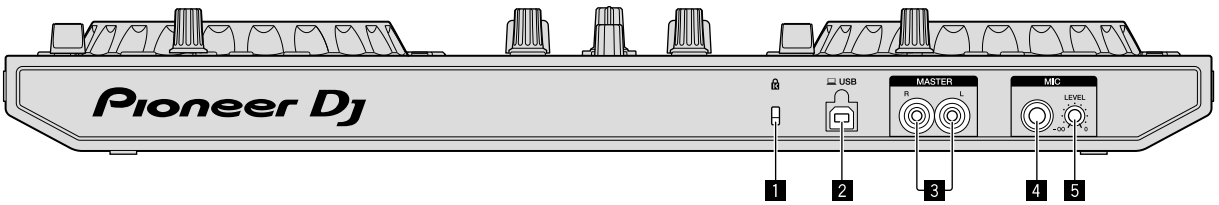
[**SHIFT**] ＋ 押す：
ビート FX のテンポモードを BPM オートモードにします。楽曲の BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

3 FX BEAT 設定 ▶ ボタン
ボタンを押すたびにビート FX のエフェクト音を同期させる拍の倍率が大きくなります。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ビート FX のテンポモードを BPM タップモードにします。ビート FX の基準となる BPM 値を、ボタンをたたいた間隔から算出します。

4 FX LEVEL/DEPTH ツマミ
ビート FX のパラメーターを調整します。

本体背面部



1 ケンジントンロック装着用穴
盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

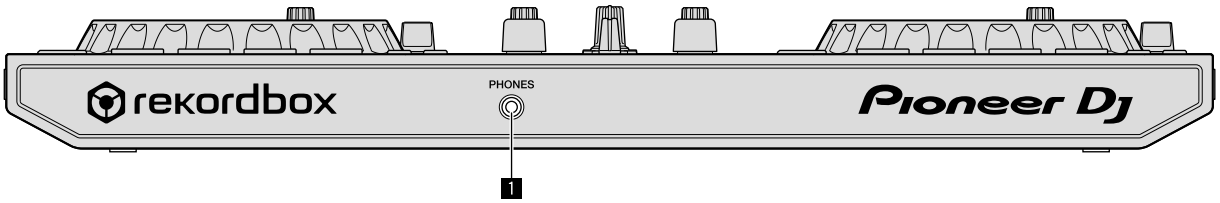
2 USB 端子
コンピューターと接続します。
- 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

3 MASTER 出力端子（RCA ピンジャック）
アンプ内蔵スピーカーやパワーアンプなどを接続します。
- アンバランス出力に対応しています。

4 MIC 入力端子（1/4" TS ジャック）
マイクを接続します。
- アンバランス入力のみ対応しています。

5 MIC LEVEL ツマミ
MIC 入力端子から入力される音声レベルを調整します。
- マイクを使わないときは、音量を最小にしてください。

本体前面部



1 PHONES 出力端子（3.5 mm ステレオミニジャック）
ヘッドホンを接続します。
ステレオミニフォーンプラグ (ø 3.5 mm) に対応しています。
- インピーダンスが 32 Ω 以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンには対応していません。

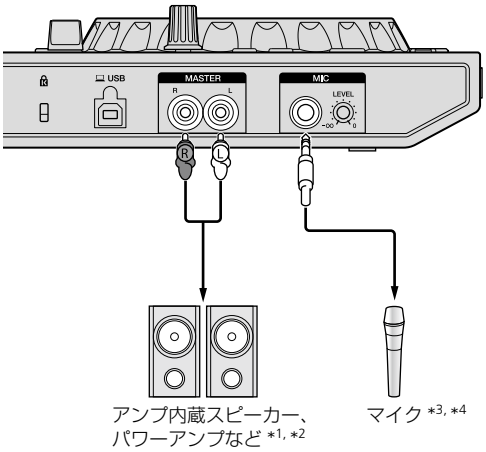
接続する

機器の接続や変更を行う場合、USB ケーブルを抜いてから行ってください。USB ケーブルは、必ず本製品に付属のものをお使いください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピューターを接続するだけで使用できます。
接続用ケーブルは、本機の端子の位置を確認し、本機と正しく接続してください。

- 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 本機を接続するコンピューターは、AC 電源に接続してください。
- 以下のような場合に USB バスパワーで動作しないことがあります。
  — コンピューター本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
  — コンピューターに他の USB 機器を接続している。
  — インピーダンスが 32 Ωより小さいヘッドホンを接続している。
  — [**PHONES**] 出力端子にモノラルジャックを接続している。

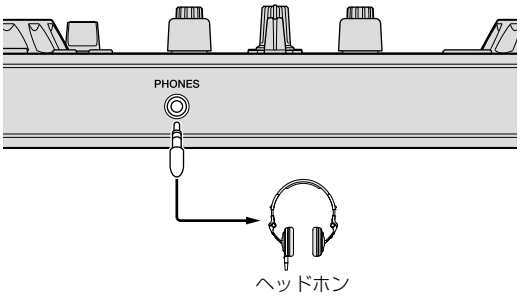
入出力端子に接続する

本体背面部



*1 オーディオケーブル（RCA）は本製品に付属されていません。別途ご用意ください。
*2 [**MASTER**] 出力端子に接続している機器（アンプ内蔵スピーカー、パワーアンプなど）のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されるので、ご注意ください。
*3 [**MIC**] 入力端子は、アンバランス入力のみ対応しています。
*4 マイクを使わないときは、[**MIC LEVEL**] ツマミで音量を最小にしてください。

本体前面部

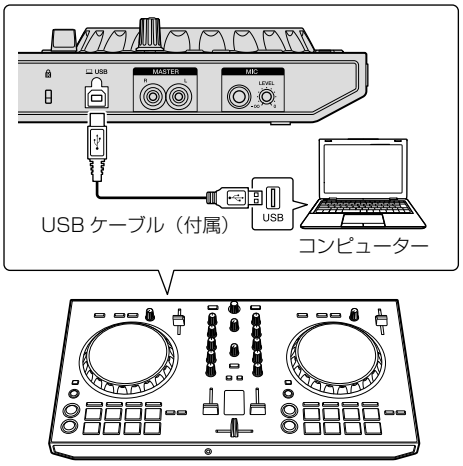


インピーダンスが 32 Ω以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが 32 Ωより小さいヘッドホンには対応していません。

コンピューターと接続する

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

必ず本製品に付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブはご使用できません。



2 コンピューターの電源をオンにする

3 出力端子に接続された機器（アンプ内蔵スピーカー、パワーアンプなど）の電源を入れる

操作する（基本編）

rekordbox を起動する

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しいrekordbox djの操作については、rekordboxの操作説明書をご覧ください。

[rekordbox] アイコンをクリックする

Mac OS X のとき

Finder で [**アプリケーション**] フォルダーを開いてから、[**rekordbox 4**] フォルダの中の [**rekordbox**] のアイコンをクリックする

Windows 10、8.1 のとき

[**アプリビュー**] から、[**rekordbox**] のアイコンをクリックする

Windows 7 のとき

Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Pioneer**] > [**rekordbox X.X.X**] > [**rekordbox**] のアイコンをクリックする

rekordbox を準備する

- 本手順は初回起動時のみ必要となります。

アカウント情報を入力する

すでにアカウントをお持ちの方は、アカウント情報を入力して [**登録**] をクリックしてください。
アカウントをお持ちでない方は、[**アカウント作成**] をクリックし、アカウント作成のウェブページに移動してアカウントを作成してください。

- アカウント作成手順については、下記の rekordbox 商品サイトにアクセスし、[**Support**] 内の rekordbox 操作説明書をご覧ください。
  http://rekordbox.com/

利用方法を選択する

[**DJ パフォーマンス**] アイコンをクリックする

ライセンスキーを入力してアクティベートする

画面の指示に従って、製品に同梱の rekordbox dj ライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力してアクティベートしてください。

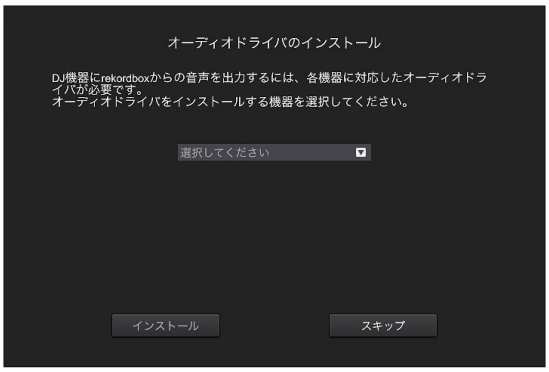
- 本機をご購入のお客様は、rekordbox dj のライセンスキーを購入する必要はありません。
- アクティベート作業手順については、下記 rekordbox 商品サイトにアクセスし、[**Support**] 内の rekordbox 操作説明書をご覧ください。
  http://rekordbox.com/

ドライバーソフトウェアをインストールする

オーディオドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を本機から出力するための専用ドライバーです。

1 本機とコンピューターを接続している USB ケーブルを抜く

2 オーディオドライバーのインストール画面で、プルダウンメニューから [DDJ-RB] を選択し、[インストール] をクリックする



- [**スキップ**] を選択した場合はオーディオドライバーがインストールされません。
  後でオーディオドライバーをインストールする場合は、rekordbox dj 上の [**環境設定**] > [**オーディオ**] > [**オーディオ**] > [**ドライバ**] の手順で、
  Mac OS X のとき：DDJ-RB_M_X.X.X.dmg
  Windows のとき：DDJ-RB_VerX.X.X.exe
  を選択し、インストールを行ってください。

インストール手順（Mac OS X）

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 画面の内容を確認して [続ける] をクリックする

2 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[続ける] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しない**] をクリックして、インストールを中止してください。

3 画面の指示に従ってインストールする

4 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 画面の内容を確認して [続ける] をクリックする

2「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れてから [OK] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただけないときは、[**キャンセル**] をクリックして、インストールを中止してください。

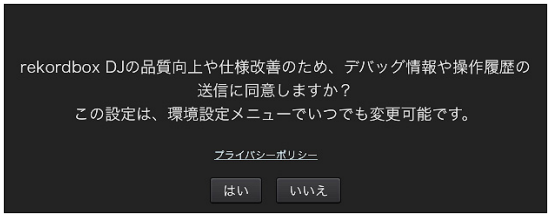
3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると、終了メッセージが表示されます。

4 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

rekordbox お客さまご利用状況の送信確認をする

以下の画面で、rekordbox の品質向上や仕様改善のために、お客様のご利用状況の送信にご協力頂ける場合は、[**はい**] をクリックしてください。送信しない場合は [**いいえ**] をクリックしてください。



オーディオを設定する

本機を接続した状態で rekordbox を起動すると、[**スピーカー選択**] 画面が表示されます。
使用するオーディオ環境に応じて、いずれかを選択して [**OK**] をクリックしてください。

楽曲ファイルを [コレクション] に追加する

[**コレクション**] とは、rekordbox が管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。コンピューター内にある楽曲ファイルを rekordbox の楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox でその楽曲を使用することができます。

1 ツリービューの [コレクション] をクリックする

[**コレクション**] 内に登録されている楽曲リストが表示されます。

2 Finder または Windows エクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーを楽曲リストにドラッグ＆ドロップする

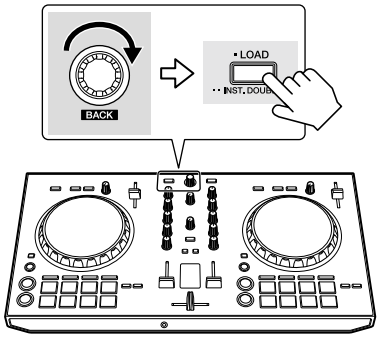
楽曲ファイルが [コレクション] に追加され、楽曲ファイルの波形情報の解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。

楽曲をデッキにロードする

以下では、デッキ 1（左側）に楽曲をロードする方法を例にして説明します。

ロータリーセレクターを回して、[コレクション] 内の楽曲を選択し、デッキ 1（左側）の [LOAD] ボタンを押す

楽曲がデッキにロードされます。

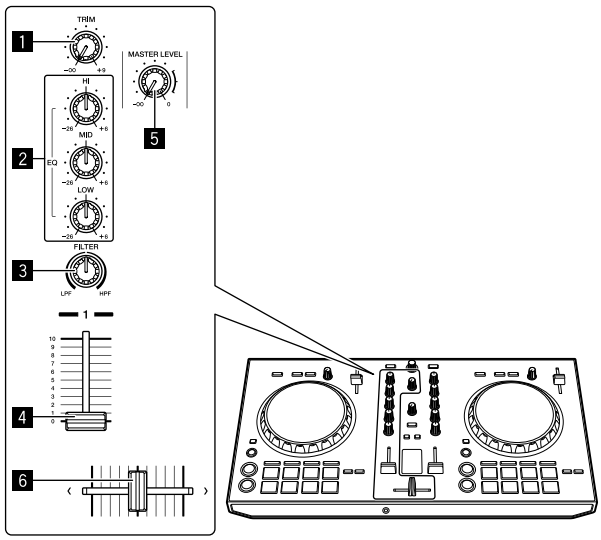


楽曲を再生する

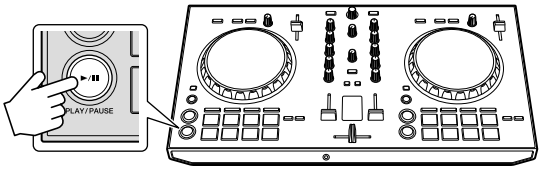
以下では、デッキ 1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
1 **TRIM** ツマミ	左に回しきった位置
2 **EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ	中心位置
3 **FILTER** ツマミ	中心位置
4 チャンネルフェーダー	手前側の位置
5 **MASTER LEVEL** ツマミ	左に回しきった位置
6 クロスフェーダー	中心位置

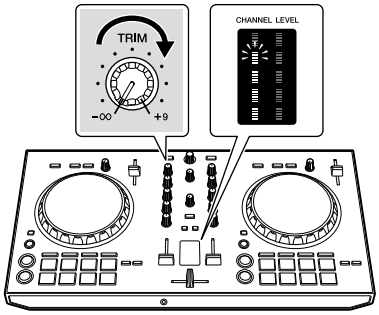


2 [PLAY/PAUSE ►/❚❚] ボタンを押して楽曲を再生する

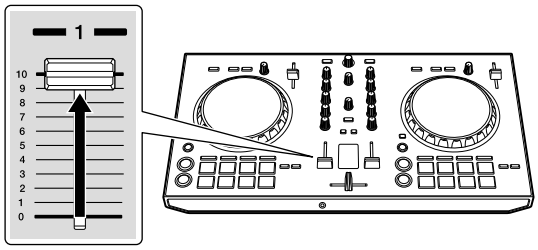


3 [**TRIM**] ツマミを回す

[CHANNEL LEVEL] インジケーターのオレンジ色のインジケーターが、ピークレベルで点灯するように、[**TRIM**] ツマミを調整してください。

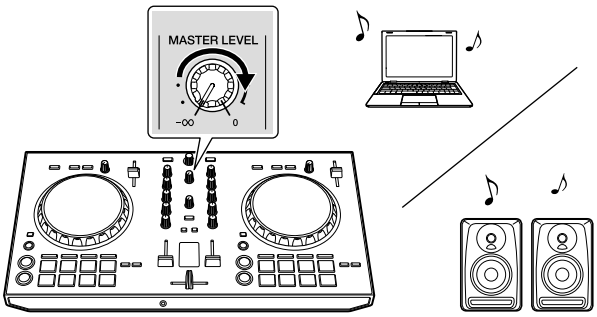


4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



5 [**MASTER LEVEL**] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER**] 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- ご使用のオーディオ環境に応じたスピーカーから音声が出力されます。

rekordbox を終了する

1 rekrodbox を終了する

2 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する (応用編)

これ以降の操作説明の記載では、rekordbox の操作説明書で説明されていない、本機と rekordbox dj を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パフォーマンスパッドを使う

それぞれの機能はパッドモードボタン ([**HOT CUE**] モードボタン、[**PAD FX 1**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン) で切り換えます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- ホットキューポイントは各楽曲につき 8 か所まで設定および保存できます。

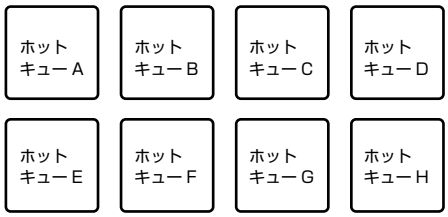
❖ ホットキューを設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

❖ マニュアルループを設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切り換わります。

2 再生中に [LOOP IN] ボタンを押してから [LOOP OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

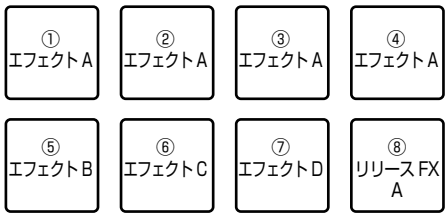
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

パッド FX を使う

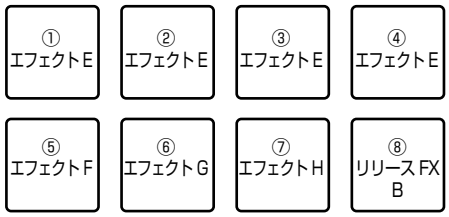
パフォーマンスパッドを押す／放すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 [PAD FX 1] モードボタンを押す

パッド FX モード 1 に切り換わります。
エフェクトが、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**PAD FX 1**] モードボタンを押すと、パッド FX モード 2 に切り換わります。
  エフェクトが、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



- パフォーマンスパッドに割り当てるエフェクトはカスタマイズすることができます (パッド 2 から 4 までは、パッド 1 と同じエフェクトになります) 。詳しくは、rekordbox の操作説明書をご覧ください。
- パッド 8 にアサインされているリリース FX の種類を変えるには、rekordbox dj 上で行う必要があります。詳しくは、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンします。

3 パフォーマンスパッドを指から放す

エフェクトがオフされます。

❖ パッド FX のリリース FX を使う

1 パフォーマンスパッドのパッド 1 からパッド 7 のいずれかを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンします。

2 パフォーマンスパッドのパッド 8 を押す

それまでオンになっていたパッド FX のエフェクトがオフになり、リリース FX の効果が付加されます。

スライサーを使う

指定した範囲を 8 分割し、分割したそれぞれの区間をパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てます。パフォーマンスパッドの 1 つを押している間、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。
パッドに割り当てられた音声のループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま再生を続けます。パッドを放してループ再生が終わると、それまでに経過した位置から再生を再開します。

1 [SLICER] モードボタンを押す

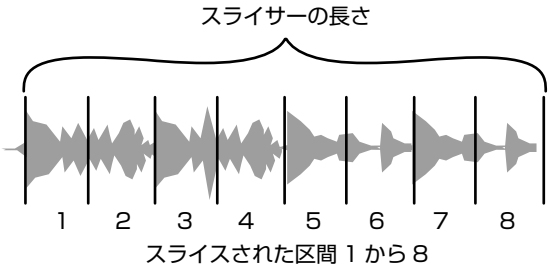
スライサーモードに切り換わります。

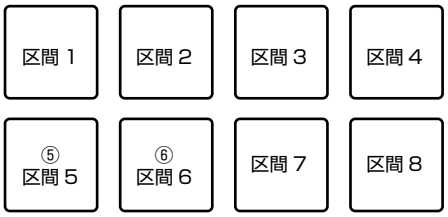
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SLICER**] モードボタンを押すと、スライサーループモードに切りかわります。

➲「スライサーモードとスライサーループモードについて」(p.14)

2 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面にある [LENGTH] の左右のボタンを押す

スライサーの長さを設定します。
[**LENGTH**] の左右のボタンを押すたびに、スライサーの長さの設定値が切り換わります。
設定した範囲を 8 分割した、それぞれのスライスされた区間は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。





3 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面にある [ROLL] の左右のボタンを押す

スライサーの「SLICE ROLL」を設定します。ボタンを押すたびに、SLICE ROLL の設定値が切り換わります。
「SLICE ROLL」の設定値によって、パッドを押している間のループ再生の長さを変更できます。たとえば、「SLICE ROLL」の設定が [**1/4**] のときはパッドに割り当てられた区間の先頭から 1/4 の長さだけをループ再生します。

4 [SHIFT] ボタンを押しながら、パッド 5 またはパッド 6 を押す

[**SHIFT**] ボタンを押しながらパッド 5 を押すと、スライサー対象エリアが左方向へ移動します 。
また、[**SHIFT**] ボタンを押しながらパッド 6 を押すと、スライサー対象エリアが右方向へ移動します (スライスシフト)。

5 パフォーマンスパッドを押し続ける

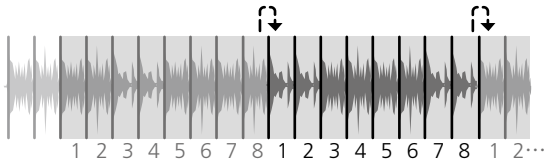
パッドを押し続けている間、ループ再生を続けます。

- ループ再生の長さは「SLICE ROLL」の設定により異なります。

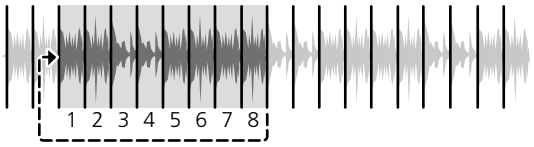
パッドから手を放すと、バックグラウンドで再生している位置に戻ります。

❖ スライサーモードとスライサーループモードについて

スライサーモード
再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に切り換わり、分割されたそれぞれの区間は新たに各パッドへ割り当てられます。



スライサーループモード
再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が 8 分割された範囲の最初に戻ります。



サンプラーを使う

サンプラーのサンプラースロットにロードされた楽曲を、パフォーマンスパッドで再生できます。

❖ サンプラーを使う準備をする

[SHIFT] ボタンを押しながら、[MASTER] ボタンを押す

rekordbox dj の画面上に表示されるパネルが切り換わりますのでサンプラーパネルが表示されるまで [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**MASTER**] ボタンを押してください。楽曲、ループ、およびスライサーの対象エリアをサンプラースロットへロードすることができます。

❖ 楽曲をサンプラースロットにロードする

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切り換わります。

2 ロータリーセレクターを押して、カーソルを楽曲リストへ移動する

3 ロータリーセレクターを回す

サンプラースロットへロードしたい楽曲を選択します。

4 [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

選択された楽曲がサンプラースロットにロードされます。

- rekordbox の [**環境設定**] によっては、既にロード済みのサンプラースロットへ上書きでロードできない場合があります。

❖ パフォーマンスパッドを使ってサンプラーを演奏する

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切り換わります。

2 rekordbox dj 上のサンプラーパネル画面内にある [サンプラー バンク切り換え] ボタンを押す

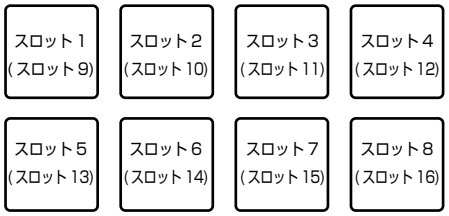
サンプラーには４つのバンクがあり、それぞれのバンクには１６のスロットがあります。

3 rekordbox dj 上の [サンプラー VOLUME] フェーダーを上方向に動かす

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- デッキ 1 のパッドモードがサンプラーモードのとき、サンプラースロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ 2 のパッドモードがサンプラーモードのとき)



5 再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

6 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

ビートジャンプを使う

再生中の楽曲のリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

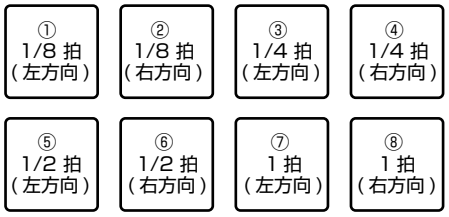
ビートジャンプモードに切り換わります。

2 rekordbox dj上のトラックデッキ画面内にある [PAGE*] の左右のボタンをクリックする

ボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられる再生位置の移動量 (拍数または小節数) が切り換わります。
以下の 9 通りの設定ができます。

PAGE1	FINE/1/8 拍 /1/4 拍 /1/2 拍
PAGE2	1/8 拍 /1/4 拍 /1/2 拍 /1 拍
PAGE3	1/4 拍 /1/2 拍 /1 拍 /2 拍
PAGE4	1/2 拍 /1 拍 /2 拍 /4 拍
PAGE5	1 拍 /2 拍 /4 拍 /8 拍
PAGE6	2 拍 /4 拍 /8 拍 /16 拍
PAGE7	4 拍 /8 拍 /16 拍 /8 小節
PAGE8	8 拍 /16 拍 /8 小節 /16 小節
PAGE9	16 拍 /8 小節 /16 小節 /32 小節

たとえば、[PAGE2] の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。



3 rekordbox dj 上でキーボードの [SHIFT] を押しながら、トラックデッキ画面内にある [PAGE*] の左右のボタンをクリックする

rekordbox dj 上で [**PAGE***] の左右のボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられる再生位置の移動量 (拍数または小節数) が切り換わります。
以下の 3 通りの設定ができます。

PAGE1	FINE/1/8 拍 /1/4 拍 /1/2 拍
PAGE5	1 拍 /2 拍 /4 拍 /8 拍
PAGE9	16 拍 /8 小節 /16 小節 /32 小節

4 パッド 1、パッド 3、パッド 5、またはパッド 7 を押す
押されたパッドに割り当てられた拍数または小節数で、再生位置が左方向へ移動します。

5 パッド 2、パッド 4、パッド 6、またはパッド 8 を押す
押されたパッドに割り当てられた拍数または小節数で、再生位置が右方向へ移動します。

シーケンスコールを使う

保存した最大 8 つのシーケンスをパフォーマンスパッドからダイレクトに呼び出して再生することができます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す
シーケンスコールモードに切り換わります。

2 パフォーマンスパッドを押す
押したパッドに保存されたシーケンスを再生します。
8 つのシーケンスは左右のパッドで共通です。
シーケンスの保存については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

3 再生中にパフォーマンスパッドを押す
シーケンスの先頭に戻って再生を続けます。

4 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す
再生中のシーケンスを停止します。

スリップを使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。
リズムを崩すことなく、さまざまなパフォーマンスが可能です。

スリップホットキュー

1 [HOT CUE] モードボタンを押す
ホットキューモードにします。

2 ホットキューを設定する
パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内にある [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。
ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内で [SLIP] ボタンを押します。

スリップスクラッチプレイ

1 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内にある [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチプレイする
スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 ジョグダイヤルの天面から手を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内で [SLIP] ボタンを押します。

スリップブレーキング

1 rekordbox の [環境設定] > [コントローラー] メニューの [デッキ] タブの中にある [バイナルスピードアジャスト] - [タッチ / ブレーキ] の設定を調整する
[**バイナルスピードアジャスト**] の設定は楽曲の再生状態から停止するまでの速度などを調整します。
スリップブレーキングを使うときは、コンピューター画面の [**バイナルスピードアジャスト**] の [**タッチ / ブレーキ**] のツマミを調整して、ゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内にある [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内で [SLIP] ボタンを押します。

スリップマニュアルループ

1 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内にある [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 再生中に [LOOP IN] ボタンを押してから [LOOP OUT] ボタンを押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[LOOP OUT] ボタンを押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 rekordbox dj 上のトラックデッキ画面内で [SLIP] ボタンを押します。

フェーダースタート機能を使う

チャンネルフェーダースタート機能を使う

1 キューを設定する
再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす
設定したキューポイントから楽曲の再生を始めます。
- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。

キュー待機中に、[SHIFT] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときは、設定したキューポイントから楽曲の再生を始めます。

クロスフェーダースタート機能を使う

クロスフェーダースタート機能を使うときは、動かしたいチャンネルのクロスフェーダーアサインの設定を rekordbox dj 上で行ってください。

1 キューを設定する
再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする
フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす
設定したキューポイントから楽曲の再生を始めます。
- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。
  キュー待機中に、[SHIFT] ボタンを押しながらクロスフェーダーを左端から右端 (または右端から左端) の位置にしたときは、設定したキューポイントから楽曲の再生を始めます。

楽曲を解析する

rekordbox の楽曲リストに楽曲ファイルまたは楽曲ファイルの入ったフォルダーをドラッグ & ドロップすると、楽曲の解析が始まります。

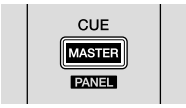
- 解析が完了する前の楽曲を本機の [**LOAD**] ボタンを押してデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

ビート FX を使う

ビート FX はデッキにロードした楽曲のテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。
ビート FX には、FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあり、それぞれのユニットで割り当てるデッキを rekordbox dj 上で自由に設定できます。

ここではチャンネル 1 にエフェクトユニットを割り当てて、エフェクトをかける方法を説明します。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、ミキサー部の [MASTER] ボタンを押して、rekordbox dj の [FX パネル] を表示する

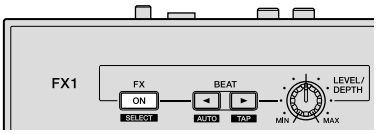


2 rekordbox dj の [FX パネル] 内 FX1 側の FX アサイン [1] を押して、チャンネル 1 にエフェクトユニットを割り当てる

初期設定でエフェクトユニットの FX アサイン [**1**] は有効になっています。

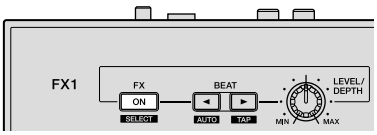
3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[FX ON] ボタンを押して、エフェクトの種類を選ぶ

現在選ばれているエフェクトの種類は、rekordbox dj の画面上に表示されます。



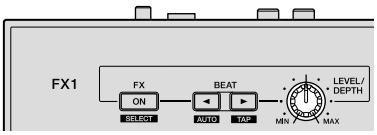
4 [FX ON] ボタンを押して、エフェクトをオンにする

rekordbox dj の画面上で対応するエフェクトの [**ON**] ボタンがハイライトで表示されます。



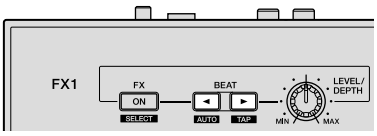
5 [LEVEL/DEPTH] ツマミを操作して、エフェクトのパラメーターを調整する

原音とエフェクト音のバランスを調整することができます。



6 [BEAT ◄、►] ボタンを押す

エフェクトをかける拍間隔を調整することができます。



エフェクトのテンポモードを切り換える

rekordbox dj のエフェクトには、ビート FX のテンポを設定する方法として、「BPM オートモード」と「BPM タップモード」の 2 つのモードがあります。

- 初期状態は BPM オートモードに設定されています。

❖ BPM オートモード

楽曲の BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

❖ BPM タップモード

エフェクトの基準となる BPM 値を、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**BEAT►**] ボタンを指でたたいた間隔から算出します。

❖ BPM タップモードに切り換える

[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT►] ボタンを押す

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**BEAT◄**] ボタンを押すと、BPM オートモードへ切り換わります。

録音機能を使う

rekordbox dj には録音機能があり、ミックスした音を録音することができます。
詳しい録音方法は、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

1 rekordbox dj のグローバルセクション内にある [REC] ボタンをクリックする

rekordbox dj の画面上に録音用のパネルが表示されます。

2 rekordbox dj の録音パネルの ● をクリックして、録音を開始する

- ● を再びクリックすると、録音が停止されます。
- 録音が完了すると、自動でファイルが保存されます。
- ファイルの保存先はrekordboxの [**環境設定**] > [**コントローラー**] > [**その他**] タブから変更することができます。

マイクを使う

1 [MIC] 入力端子にマイクを接続する

2 rekordbox dj 上の [MIXER/MIC] ボタンを押してミキサーパネルを表示する

3 rekordbox dj 上の [MIC ON] ボタンを押す

4 [MIC LEVEL] ツマミを操作して、出力される音声レベルを調整する

rekordbox と接続することで、EQ の調整やエフェクトをかけることができます。
rekordbox dj の操作については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 USB ケーブルをコンピューターから抜く

2 左側のデッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンの両方を押しながら、USB ケーブルをコンピューターに接続する

ユーティリティーモードが起動します。

3 ユーティリティーモードで起動後に、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

4 USB ケーブルをコンピューターから抜いて、本機の電源を OFF する

電源を OFF にすることで設定が保存され、ユーティリティーモードを終了します。

ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは、以下の設定を変更することができます。
- MIDI コントローラー設定
- マスター出力のモノラル／ステレオ切り換え
- マスター出力のピークリミッターの設定
- マイク出力のピークリミッターの設定
- デモモード設定

強制的に一般的な MIDI コントローラーとして使用する

本機は、rekordbox の起動の有無に応じて、以下のように動作が自動的に切り換わります。
- rekordbox が起動している場合、rekordbox dj の機能に合わせたコントローラーとして動作します。
- rekordbox が起動していない場合、一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

rekordbox が起動していたとしても、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作させることもできます。

左側のデッキの [FX ON] ボタンを押す

- [**FX ON**] ボタン消灯：rekordbox の起動の有無に応じて、動作が自動的に切り換わります。
- [**FX ON**] ボタン点灯：rekordbox の起動の有無にかかわらず、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

モノラル音声／ステレオ音声を切り換える

[**MASTER**] 出力端子から出力される音声のモノラル音声／ステレオ音声を切り換えることができます。
- 初期設定では、ステレオ音声が出力されるに設定されています。

左側デッキの [HOT CUE] ボタンを押す

- [**HOT CUE**] ボタン　消灯：モノラル音声が出力されます。
- [**HOT CUE**] ボタン　点灯：ステレオ音声が出力されます。

マスター出力のピークリミッターの設定を切り換える

マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。
- 初期設定では、有効に設定されています。

左側デッキの [PAD FX1] ボタンを押す

- [**PAD FX1**] ボタン　消灯：マスター出力ピークリミッター無効
- [**PAD FX1**] ボタン　点灯：マスター出力ピークリミッター有効

マイク出力のピークリミッターの設定を切り換える

マイク出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。
- 初期設定では、有効に設定されています。

左側デッキの [SLICER] ボタンを押す

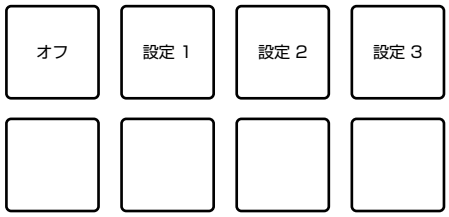
- [**SLICER**] ボタン　消灯：マイク出力ピークリミッター無効
- [**SLICER**] ボタン　点灯：マイク出力ピークリミッター有効

デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で設定された時間内に本機内の操作がない場合、デモモードを開始します。
- 初期設定では、デモモードの開始までの時間は 10 分となっています。
- デモモード開始後、いずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

左側のパフォーマンスパッドを押して、設定を選ぶ

どのパッドが点灯しているかにより、現在選ばれている設定がわかります。



オフ：デモモード無効
設定 1：1 分間操作がないときにデモモードを開始
設定 2：5 分間操作がないときにデモモードを開始
設定 3：10 分間操作がないときにデモモードを開始

rekordbox 上で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox 上で変更することができます。
[**環境設定**] の [**コントローラー**] 内にある設定項目で変更します。

rekordbox と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

[**コントローラー**] 内の [**デッキ**] タブ内：
[バックスピンレングス] の設定
本機はジョグダイヤルをバックスピン操作した際、実際のジョグダイヤルの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。
バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロング の 3 種類から選択できます。
[**ショート**]：バックスピンレングス ショート
[**ノーマル**]：バックスピンレングス ノーマル
[**ロング**]：バックスピンレングス ロング

[**コントローラー**] 内の [**ミキサー**] タブ内：
[Fader Start] の設定
フェーダースタート機能の設定を変更します。
[SHIFT ボタンを押しながら Channel Fader または Cross Fader を操作した時に Fader Start 動作する] にチェックを入れると有効になります。

[クロスフェーダー] の [リバース] の設定
クロスフェーダーの左右を切り換えることができます。
[**有効**]：クロスフェーダーの左側が [**DECK2**]、右側が [**DECK1**] になります。
[**無効**]：クロスフェーダーの左側が [**DECK1**]、右側が [**DECK2**] になります。

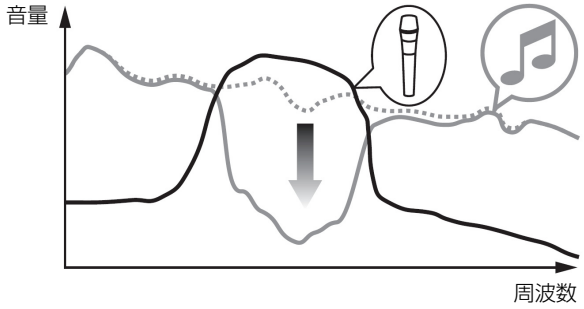
[クロスフェーダー] の [Cut Lag] の設定
クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整することができます。
0.3 mm から 5.5 mm まで 0.1 mm 単位で調整することができます。
- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。

[Level Meter] の設定
ミキサー部にあるレベルメーターにチャンネルレベルメーターまたはマスターレベルメーターどちらを表示するかを設定することができます。
- 初期設定時は、Channel Level に設定されています。

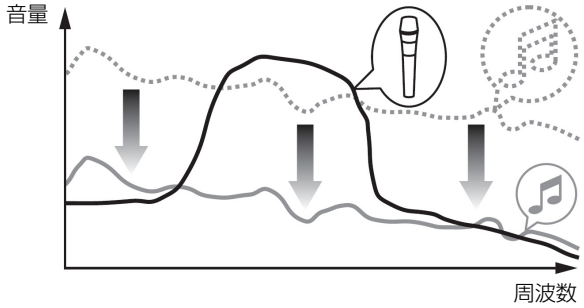
[**Channel Level**]：チャンネルレベルメーターの情報を表示します。
[**Master Level**]：マスターレベルメーターの情報を表示します。

[Mic 入力] の [Low Cut Filter] の設定
マイク音声に対して、人の声より低い音を減衰させるフィルターを適用する／しないを設定します。
このローカットフィルターにより、スピーカーなどから出ているバックグラウンドノイズがマイクに入力されることを低減します。
[**On**]：マイク音声のローカットフィルターを有効にします。
[**Off**]：マイク音声のローカットフィルターを無効にします。

[Mic 入力] の [Talkover モード] の設定
トークオーバーモードを切り換えます。
[Advanced]（アドバンスド・トークオーバーモード）：マイク以外の音声がトークオーバーレベルの設定値に従って中音域だけ減衰して出力されます。



[Normal]（ノーマル・トークオーバーモード）：マイク以外の音声がトークオーバーレベルの設定値に従って減衰して出力されます。



[Mic 入力] の [Talkover Level] の設定
トークオーバー機能の音声減衰レベルを設定します。
設定値：-6 dB ／ -12 dB ／ -18 dB ／ -24 dB

ドライバーソフトウェアおよび設定ユーティリティーソフトウェアについて

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

設定ユーティリティーソフトウェアを使う

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用いただけます。

❖ 設定ユーティリティーソフトウェアを起動する

Windows 10、8.1 のとき

[アプリ ビュー] から、[Pioneer]>[DDJ-RB 設定ユーティリティ] をクリックする

Windows 7 のとき

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ-RB]>[DDJ-RB 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ バッファサイズを調整する

バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

ドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

Mac OS X のとき

1 Finder で [アプリケーション] フォルダーを開く

2 [Pioneer] > [DDJ-RB] > [DDJ-RB バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

Windows のとき

1 設定ユーティリティーソフトウェアを起動する

2 [About] タブをクリックする

- この画面では、本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバーソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバーソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サイトをご覧ください。
http://pioneerdj.com/

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サイトへアクセスして、[**DDJ-RB**] の [**よくある質問**] を確認してください。
  http://pioneerdj.com/
  また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、22 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
本機の電源が入らない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されているコンピューターの USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。
		DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらを抜いて電力を確保してください。
		接続先のコンピューターをバッテリーで駆動させずに、AC アダプターから電源供給を行ってみてください。
本機がコンピューターで認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバーソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバーソフトウェアを正しく設定してください。（10 ページ）
	お使いのコンピューターで本機が認識されていますか？	Mac：[**DDJ-RB バージョン表示ユーティリティ**] で、本機のファームウエアバージョンが表示されるか確認してください。（18 ページ）
		Windows：[**DDJ-RB 設定ユーティリティ**] で、本機のファームウエアバージョンが表示されるか確認してください。（18 ページ）
	他のアプリケーションが動作していませんか？	スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、コンピューターの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
	本機以外に USB 機器が接続されていませんか？	外付けハードディスクや、一部機種ではキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
	–	コンピューターに USB 端子が複数ある場合は、他の USB 端子で確認してください。
	本機以外の複数の ASIO ドライバーがコンピューターにインストールされていませんか？	必要のない ASIO ドライバーは、アンインストールしてください。 アンインストール方法については、それぞれの ASIO ドライバーを提供しているメーカーにご確認ください。
	コンピューターのサウンド設定は、正しく設定されていますか？	Mac：本機と接続している USB ケーブルを外してから、Mac OS X のユーティリティーソフトウェア [**Audio MIDI 設定**] を起動し、[**MIDI ウインドウ**] または [**MIDI スタジオ**] を表示させます。[DDJ-RB] アイコンを選択してから [**装置を削除**] をクリックします。(アイコンは [DDJ-RB] ではなく、[**USB MIDI 装置**] になっている場合があります。その場合は [**USB MIDI 装置**] を選択します。) 再度、本機と USB ケーブルで接続すると [DDJ-RB] アイコンが表示されます。
ジョグダイヤルがタッチしても反応しない。	ジョグダイヤルが汚れていませんか？	本機のジョグタッチの検出は静電方式のため、ジョグダイヤルが汚れていたり、手にハンドクリームをつけていたりすると反応しないことがあります。ジョグダイヤルを清掃するときは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で 5 倍から 6 倍に薄めて、柔らかい布に浸してよく絞ってください。絞った後に汚れをふき取り、乾いた布で拭いてください。
	本機のほかの金属部分に触れながら、ジョグダイヤルにタッチすると反応はありますか？	本機のほかの金属部分を触れながらジョグダイヤルにタッチが効く場合は、本機が接続している機器から影響を受けている可能性があります。本機に接続されている機器 (コンピューターやアンプなど) の接続環境 (設置場所やグランド接続状態など) を見直してください。
録音できない。	録音レベルが低くなっていませんか？	rekordbox dj の録音用パネル内にある録音調整ツマミを調整してください。
音が出ない、または音が小さい。	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	接続しているパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワードスピーカーなどの外部入力切換や音量を正しく設定してください。
	ドライバーソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバーソフトウェアを正しく設定してください。（10 ページ）
	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミを正しい位置に設定してください。
音がひずむ。	[**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて、[**MASTER LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**HEADPHONES LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて [**HEADPHONES LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**TRIM**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを調整してください。
音声がとぎれる。	バッファサイズ (レイテンシー) の値は適切ですか？	Mac の場合は、rekordbox のバッファサイズ (レイテンシー) の値を適切に設定してください。
		Windows の場合は、設定ユーティリティーでバッファサイズの値を適切に設定してください。（18 ページ）
インジケーターが点滅して動作がおかしくなった。	–	動作がおかしい、もしくは起動しない場合は、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくたってから起動してください。 それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
rekordbox dj の動作が不安定になる。	rekordbox 以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	コンピューターの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
	コンピューターに他の USB 機器を接続している。	他の USB 機器をコンピューターから外してください。 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB 端子に不具合がある。	お使いのコンピューターに複数の USB 端子がある場合は、別の USB 端子に接続してみてください。
	バッテリー駆動させているノートブック型コンピューターに接続していませんか？	ノートブック型コンピューターに AC 電源から電源供給してください。 (ノートブック型コンピューターの設定によっては、バッテリー駆動中に省電力にするため、コンピューター自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。)
フェーダースタート機能が動作しない	キューが設定されていますか？	キューを設定してください。
画面上にトラックデッキがひとつしか表示されない トラックデッキにブラッターが表示されない	rekordbox が [**EXPORT**] モードになっていませんか？	画面左上に [**EXPORT**] と書かれている部分をクリックした後、[**PERFORMANCE**] を選択してください。
	rekordbox dj のアクティベートはお済みですか？	rekordbox の [**環境設定**] > [**ライセンス**] 画面で、本機付属の rekordbox dj ライセンスキーを入力してください。アクティベート方法の詳細については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
rekordbox ソフトウェア以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- 詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
  http://pioneerdj.com/

ドライバーソフトウェアについて

本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用ドライバーです。
「ソフトウェア使用許諾書」（30 ページ）をよくお読みください。

❖ ドライバーソフトウェアを入手する

1 コンピューターでウェブブラウザーを起動し、下記の Pioneer DJ サイトにアクセスする
http://pioneerdj.com/

2 [Support] をクリックする

3 [ソフトウェア＆ファームウェアのアップデート] をクリックする

4 [CONTROLLER] カテゴリー内の [DDJ-RB] をクリックする

5 [Drivers] をクリックし、ダウンロードページから最新のドライバーソフトウェアをダウンロードする
Mac 用または Windows 用ドライバーのいずれかをダウンロードページからダウンロードしてください。

インストール手順（Mac OS X）

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1「ドライバーソフトウェアを入手する」でダウンロードした Mac 用ファイル（DDJ-RB_M_X.X.X.dmg）をダブルクリックする
[DDJ-RB_AudioDriver] のメニュー画面が表示されます。

2 [DDJ-RB_AudioDriver.pkg] をダブルクリックする
ドライバーソフトウェアのインストール画面が表示されます。

3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックする

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[続ける] をクリックする

5「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] をクリックする
「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しない**] をクリックして、インストールを中止してください。

6 画面の指示に従ってインストールする

インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1「ドライバーソフトウェアを入手する」でダウンロードした Windows 用ファイル（DDJ-RB_VerX.X.X.exe）をダブルクリックする
ドライバーのインストール画面が表示されます。

2「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れてから [OK] をクリックする
「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**キャンセル**] をクリックして、インストールを中止してください。

3 画面の指示に従ってインストールする
インストールの途中で [Windows **セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると、終了メッセージが表示されます。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様と Pioneer DJ 株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(輸出規制法令の遵守)
お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。
(a) アメリカ合衆国の通商禁止国
(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person’s List or Entity List) 上の一切の者

お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的 (核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません) にも使用しないことに同意されたものとします。

(準拠法)

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (取扱説明書 (クイックスタートガイド) の裏表紙に記載)

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 19 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-RB
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A3_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer DJ は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。rekordbox は、Pioneer DJ 株式会社の登録商標または商標です。
- Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

© 2016 Pioneer DJ 株式会社
禁無断転載
<DRJ1047-A>